



桐原は、OBでもある成美大学の北川コーチから連絡を頂き、「球友会で活躍間違いなしの投手」がいますので、一度見て下さいと言われ、セレクションに参加してくれた選手でした。

セレクションでは、北川の言ったとおり、素晴らしい投球を披露し、直ぐに北川に連絡をして「上手く指導をしていったらまだまだ伸びる選手やろ」と言ったのを覚えています。

その後のOP戦では、先発し散々な結果でしたが、先輩の西口だけはキチット抑えていましたね。

北川の予言どおり、1年目の春先から主戦投手として活躍し、都市対抗近畿予選の新日鉄広畑戦で見せた投球は「スピード、切れ、コントロール」と圧巻の一言で素晴らしい完封勝利でした。

ただ、広畑戦で痛めた股関節痛が、怪我の始まりとなり、完治して復帰すれば、また違うところ怪我すると「**怪我のループ**」との戦いの始まりでした。3年目を終えたときの、面談で一度は引退を決意するものの「**このままでは、悔いが残ります。『諦めたら終わりですから』もう一年必死で怪我と戦います**」と現役にこだわり、フォームを改造するなど、真摯に野球に取り組む姿には感動を覚えました。

また、OP戦などでは審判を率先して努めてくれるなど、後輩達を背中
で引張ってくれ「**人として**」また「**社会人として**」**尊敬するに相応しい良い男になってくれました。「球友会もて度ランキング上**
と聞きましたが、頷けます。

これから第2の人生を歩みますが、イチローの言葉に「**諦めない奴に誰も勝てっこない、結果が出ないとき、どういう自分でいられるか、決してあきらめない姿勢が、何かを生み出すきっかけをつくる**」との言葉どおり「**諦めない心**」を持ち続けて頑張ってください。
4年間本当にご苦労様でした。



「**諦めない心**」
桐原 勇人 選手
(平成27年入部)